



ささのこ

12月号

令和7年11月28日

世田谷区立笹原小学校

03-3428-8383

校長 吉田 健二

「学芸発表会を終えて」

副校長 岩佐 雅子

11月の『学芸発表会』には、多くの保護者や地域の皆様にお越しいただき、心より感謝申し上げます。温かい拍手に包まれた本番では、子どもたちは一人一人が主役になり、みんなで力を合わせて劇をつくり上げることができました。

当日を迎えるまでを少し振り返ってみます。10月中旬頃だったでしょうか、休み時間に校舎内を歩いていると、台本を握りしめてオーディションへ向けた練習をする児童の姿。目が合うと、「副校長先生、○○の役のオーディションを受けるんだ。」と教えてくれました。また、劇中歌を口ずさみながら外遊びへ向かう姿。授業中には、どこかの学年が学芸発表会で歌う歌声が聞こえてきました。11月に入り、自分たちの役に必要な小道具や大道具の製作も大詰め。学芸発表会一色に染まっていきました。体育館練習では、大きな舞台に不安になる子、そわそわしてしまう子、張り切る子と、様々な姿が見られました。みんな『学芸発表会』を成功させたい気持ちは同じなのです。大きな声で言わなくちゃ…。じっと静かに出番を待たなくちゃ…。今日は、はっきりとした声で言えたぞ！でも、明日は、大丈夫かな…。でも、おうちの人にも頑張っている姿を見てもらいたいな。友達と一緒にできそうだな。もっと練習をしてみよう。そんな思いを抱えながら、自分のめあてに向かって取り組んでいました。

1年生、2年生は初めての学芸発表会。自分のせりふだけではなく、友達のせりふも覚え、歌も元気よく歌いました。2年生は、効果音を担当する子どもたちの息もぴったり。3年生は、トップバッターを務め、のびのびとした演技でスタートを飾りました。4年生は、演技することだけではなく、背景を自分たちで色塗りをするなど劇全体を自分たちの手でつくることにチャレンジ。5年生、6年生は、学校生活最後の学芸発表会。照明や効果音、劇に関わる全てのことについて自分たちで考えつくり上げていきました。

子どもたち一人一人の力がつながり、また、保護者や地域の方のご理解とご協力があり、『笑顔と拍手いっぱいの学芸発表会』を終えることができたと思います。

学芸発表会アンケートのご協力、ありがとうございました。当日の大きな温かい拍手に加えて、児童や教職員への温かい言葉の数々、大変嬉しく思います。引き続き、みんなに「元気」で「笑顔で」「輝きのある」笹原小学校を目指して取り組んでまいります。

<お知らせ>

◆学校評価アンケートについて

先日は、学校関係者評価アンケートへの回答のご協力ありがとうございました。今年度の学校関係者評価委員は5名です。教育委員会へ集計作業を依頼して、1月から学校関係者評価委員会で分析・考察等を進めていきます。年度末には学校ホームページ等で皆様にお伝えする予定です。

●令和7年度の「重点目標」

◇主体的な学びを通した思考力・判断力・表現力の育成 ◇多様性を認め合い、よりよい集団をつくる子どもの育成 ◇自分の健康に関心をもち、よりよい生活をつくる子どもの育成